答申第 1135 号

諮問第 1797 号

件名：警務課長会議の資料等の不開示（不存在）決定に関する件

答 申

1 審査会の結論

愛知県警察本部長（以下「処分庁」という。）が、別記の開示請求に係る行政文書（以下「本件請求対象文書」という。）について、不存在を理由として不開示としたことは妥当である。

2 審査請求の内容

(1) 審査請求の趣旨

本件審査請求の趣旨は、審査請求人が愛知県情報公開条例（平成 12 年愛知県条例第 19 号。以下「条例」という。）に基づき令和 6 年 2 月 7 日付けで行った開示請求に対し、処分庁が同月 21 日付けで行った不開示決定の取消しを求めるといものである。

(2) 審査請求の理由（略）

3 処分庁の主張要旨

処分庁の弁明書における主張は、おおむね次のとおりである。

(1) 本件処分内容及び理由

ア 事実経過

(ア) 行政文書開示請求の受付

審査請求人は、令和 6 年 2 月 7 日に愛知県稲沢警察署（以下、「稲沢警察署」という。）を訪れ、愛知県警察本部（以下「警察本部」という。）で開催された留置管理会議及び警務課長会議の資料及び議事録のうち、稲沢警察署で保管されている文書の開示を求める行政文書開示請求書を提出したことから処分庁はこれを受け付けた。

この行政文書開示請求書に記載された、当初の請求内容では、会議の実施日が不明であるなど行政文書を特定するに足りない内容であったことから、補正の参考事項として会議の名称、実施日等の情報を請求人に提供した上で請求人に補正を求め、その結果、令和 6 年 2 月 7 日に請求人が提出した行政文書開示請求書の請求内容は

警察本部で令和 4 年 4 月 19 日に開催された留置主任官を対象とした留置調整に関する説明会並びに令和 4 年 11 月 25 日及び令和 5 年 9 月 19 日に開催された警務課長会議の資料及び議事録

(請求日現在 稲沢署で保管のもの)

となった(以下、この請求内容のうち、令和4年11月25日及び令和5年9月19日に開催された警務課長会議に関する請求内容を「本件開示請求」という。)

なお、本件開示請求の補正の参考となる事項として、警務課長会議の開催日を請求人に提供しているが、この日付は稲沢警察署で保存されている旅費関係書類から判明しているものである。

(イ) 警務課長会議の資料及び議事録の取扱いについて

警務課長会議の資料は、愛知県警察行政文書管理規程(平成16年愛知県警察本部訓令第27号)第59条に規定される行政文書分類基準表に分類されない保存期間1年未満の行政文書であり、愛知県警察行政文書管理規程の運用(平成16年務警・総務発甲第140号)に「行政文書のうち決裁、認証又は供覧の手続を要しないもの」と規定される「共用文書」としている。

そして、共用文書である警務課長会議の資料については、会議の出席者に配布されるものであるが、配布された当該会議の出席者の所属においても共用文書として取り扱われ、用済み後、他に利用されるおそれのないように廃棄されている。

また、警務課長会議の議事録は作成されないが、会議の出席者自身が配布資料内に会議内容を取りまとめ、それも「共用文書」として自所属で管理することとしている。

そして、会議内容を取りまとめたものは、所属内で必要な伝達がなされた後、他に利用されるおそれのないように廃棄されている。

(ウ) 本件開示請求の対象文書の調査

処分庁は、本件開示請求の対象となる文書は、令和4年11月25日及び令和5年9月19日に開催された警務課長会議において使用された資料及び議事録のうち、稲沢署が保管する文書であると判断し、対象文書について調査したが、存在しなかったものである。

よって、稲沢警察署において本件開示請求の対象となる行政文書を管理していないものと結論づけられた。

イ 本件処分

前記アのとおり本件開示請求の対象となる文書を管理していないため、処分庁は、条例第11条第2項の「開示請求に係る行政文書を管理していないとき」に該当するとして、本件処分を行った。

なお、本件開示請求以外の請求内容については、別に処分を決定している。

(2) 審査請求人の主張の不当性

請求人は、この審査請求において、会議の開催日は記録されているのに、

その資料及び議事録が不存在なのは不合理である旨主張し、本件開示請求の対象文書の開示を求めている。

しかしながら、上述したとおり、警務課長会議の資料は「共用文書」としており、この文書は用済み後に廃棄する運用を行っている上、警務課長会議の議事録については作成していないことから、対象文書が存在しないとする本件処分に誤りはない。

(3) 結語

以上のとおり、本件処分は適正に行われていることから、本件審査請求は棄却されるべきである。

4 審査会の判断

(1) 本件請求対象文書について

行政文書開示請求の内容を基本として、処分庁が作成した弁明書の内容も踏まえると、本件請求対象文書は、警察本部で令和4年11月25日及び令和5年9月19日に開催された警務課長会議（以下「本件会議」という。）の資料及び議事録であって、稲沢警察署において保管されているものであると解される。

(2) 本件請求対象文書の存否について

ア 処分庁によれば、警務課長会議の資料は、保存期間1年未満の行政文書であり、かつ、決裁、認証又は供覧の手續を要しない行政文書である共用文書であり、不要となった後、廃棄されているとのことである。また、警務課長会議の議事録は作成されないが、会議の出席者自身が配布資料内に会議内容を取りまとめ、それも共用文書として出席者の所属で管理され、所属内で必要な伝達がなされた後、廃棄されているとのことである。

イ 当審査会において処分庁から説明を聴取したところ、以下のとおりとのことである。

(ア) 警務課長会議は、警察本部総務部長及び同警務部長が主催するもので、年1回開催されており、各警察署の警務課長を警察本部に招集し、総務部及び警務部の各主管課長が通達等について説明し、注意喚起や基本ルールの徹底に関して指示等を行うものである。

(イ) 本件会議は、警察本部講堂で開催されると同時にウェブ上でも開催されたが、稲沢警察署警務課長（以下「本件課長」という。）は、警察本部講堂に出席しており、出席については旅費関係資料により確認した。

(ウ) 警務課長会議の資料については、一般的には、警察本部において警務課長会議指示メモを作成し、各警察署警務課長宛てに電子メールにより配付しているが、添付資料が付くことはなく、既に示している通

達や訓令等の文書が用いられる。

- (エ) 配付した指示メモ自体が供覧されることは一般的にはなく、警務課長会議の内容を所属内で伝達する機会としては、朝礼又は幹部が集まる会議であり、口頭で行われる。
 - (オ) 総合文書管理システムを確認したが、本件会議の内容を取りまとめたものが供覧された記録はなかった。
 - (カ) 弁明書でいう「他に利用されないように」とは、メモ用紙等の他の用途に転用されないようにするという趣旨であり、廃棄方法としては、一般的に、溶解、焼却又は裁断によるものである。本件請求対象文書は、これらの方法により既に廃棄されたものと承知している。
- ウ 当審査会が事務局職員を通じて実施機関に確認したところ、以下のとおりとのである。
- (ア) 稲沢警察署内の電子メールの受信フォルダ、共有フォルダ、稲沢警察署警務課長用のパソコンを探索したが、本件請求対象文書は存在していなかった。
 - (イ) 稲沢警察署内を探索したところ、本件会議に係る復命書は存在していなかった。
 - (ウ) 警務課長会議の資料は、既に各警察署に発出された通達等を用いていることがあり得るが、会議の開催に当たってこれらを改めて配布することはない。
- エ 当審査会において検討したところ、まず、本件請求対象文書のうち本件会議の資料は、警察本部から稲沢警察署に対して警務課長会議指示メモとして配布されたものとうかがわれるが、不要となったため、開示請求日までの間に廃棄されたものと認められる。
- 次に、本件請求対象文書のうち本件会議の議事録については、議事録そのものは作成されておらず、仮に警務課長会議指示メモを用いて、本件課長が本件会議の内容を取りまとめたものが作成されたとしても、警務課長会議指示メモと同様、不要となったため、本件開示請求日までの間に廃棄されたものと認められる。そのほか、本件請求対象文書の存在をうかがわせる事情はない。
- これらのことからすれば、本件請求対象文書を管理していないとする処分庁の説明に特段不自然、不合理な点があるとは認められず、本件会議の開催日は記載されているのにその資料及び議事録が不存在であるのは不合理である旨の審査請求人の主張には理由がない。
- (3) まとめ
- 以上により、「1 審査会の結論」のとおり判断する。

別記

警察本部で令和4年11月25日及び令和5年9月19日に開催された警務課長会議の資料及び議事録（請求日現在 稲沢署で保管のもの）

(審査会の処理経過)

年 月 日	内 容
6 . 6 . 1 9	諮問 (弁明書の写しを添付)
6 . 1 2 . 1 7 (第 697 回審査会)	処分庁職員から不開示理由等を聴取
同 日	審議
7 . 1 . 2 3 (第 699 回審査会)	審議
7 . 2 . 2 6	答申